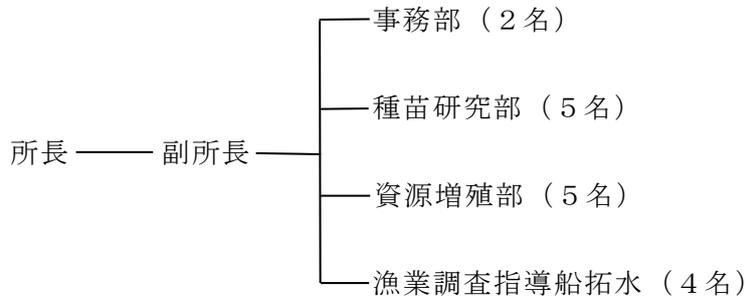


そ の 他

I 庶務一般

1 組織・機構

「福島県水産資源研究所」は、栽培漁業の推進と底魚資源研究の拠点として平成30年6月に相馬市で新たなスタートを切り、4年目を迎えた。



所在地等

水産資源研究所

〒976-0005 福島県相馬市光陽一丁目1番14

電話 0244-32-0792～4 FAX 0244-32-0795

E-mail shigenken@pref.fukushima.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37395c/>

松川浦分庁舎

〒976-0022 相馬市尾浜字追川18番地の2

電話 0244-38-6775 FAX 0244-38-6777

2 令和3年度事業別予算（千円）

款	総務費	559
項	総務管理費	559
目	人事管理費	559
款	衛生費	398
項	環境保全費	398
目	原子力安全対策費	398
款	農林水産業費	166,535
項	農業費	4,881
目	農業総務費	4,881

項 水産業費	161,654
目 水産業総務費	18
目 水産業振興費	39,286
目 漁業調整費	1
目 水産海洋研究センター費	12,648
目 水産資源研究所費	94,374
目 漁業調査指導費	15,327
合 計	167,492

Ⅱ 研究成果検討会・外部発表・一般公開等

1 研究結果検討会等

(1) 水産関係試験研究機関普及に移しうる成果等検討会

開催日時 令和4年1月19～20日

開催場所 福島県水産海洋研究センター

開催経過 令和3年度の研究成果として、「普及に移しうる成果」3課題、「放射線関連支援技術情報」3課題、「参考となる成果」6課題を福島県農林水産技術会議評価部会に提出した。

成 果 課 題 名	区 分	担 当 者
<ul style="list-style-type: none"> ・仔魚期におけるALC染色による耳石標識技術の開発 ・シロメバルの稚魚調査結果及び漁獲加入の推定 ・2020年漁期の底びき網努力量の震災前との比較 	普及成果	鈴木 翔太郎 山田 学 山田 学
<ul style="list-style-type: none"> ・松川浦と外海域におけるスズキの¹³⁷Cs濃度の比較 ・個別飼育による個体ごとの放射性セシウムの蓄積と排出の把握に向けた技術開発 ・放射性セシウム含有水の作成 	放射線	守岡 良晃 鈴木 翔太郎 鈴木翔太郎
<ul style="list-style-type: none"> ・ホシガレイ放流個体の漁獲加入と放流後の移動 ・ヒラメ親魚のアクアレオウイルス保有状況と防除対策 ・2021年における松川浦のアサリ資源動向 ・松川浦稚魚調査結果と近年の特徴 ・福島県沿岸におけるトラフグ漁獲量について ・マコガレイの肥満度、生殖腺指数の変化 	参考成果	平川 直人 山野辺 貴寛 佐藤 利幸 山田 学 白土 遼輝 白土 遼輝

(2) 研究成果報告会

なし

2 シンポジウム等における課題発表

(1) 課題発表

シンポジウム等の名称	発表課題名	発表者	年月日	開催地
令和3年度東北ブロック底魚研究連絡会	福島県底びき網漁業の東日本大震災後の漁場の変化と課題	山田学	R4. 3. 8	青森県八戸市
2021年度ERAN年次報告会	福島県松川浦における魚類の放射性セシウム濃度	守岡良晃	R4. 2. 14	オンライン

(2) 投稿論文

投稿先	論文課題名	投稿者	発行
東北底魚研究第41号	福島県北部海域におけるメロウドの分布、資源状況について	白土遼輝	R3. 12

3 漁業者等研修会の実施状況

年月日	研修会の名称	研修内容	対象者・人数	備考
R3. 4. 26	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等20名	相双漁協
R3. 6. 1	ふぐはえなわ操業会議	トラフグの生態、販売資源管理取組状況	ふぐはえなわ漁業者代表等30名	相双漁協
R3. 6. 8	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等20名	相双漁協
R3. 6. 8	青年漁業士講座	水産資源の状況と管理	新任青年漁業士2名	当所
R3. 7. 13	福島県漁業士会総会	福島県版資源評価票について	指導漁業士、青年漁業士30名	当所
R3. 7. 28	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	2020年漁期の底びき網漁獲努力量	沖合底びき網漁業者代表等20名	相双漁協
R3. 8. 6	福島県機船底曳網漁業組合連合会通常総会	2020年漁期の底びき網操業状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	福島県水産会館
R3. 10. 12	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R3. 11. 9	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協
R4. 3. 1	相馬地区沖合底びき網水揚拡大協議会	沖合底びき網漁業の水揚状況	沖合底びき網漁業者代表等30名	相双漁協

4 研修会等の実施状況

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
R3. 6. 25	巡回教室	サキグロタマツメタの駆除、アサリの資源状況	24名	
R3. 7. 19	相馬高校研修	資源管理について	5名	
R3. 8. 3	原町高校研修	資源管理と栽培漁業について	26名	
R3. 10. 7	福島高校研修	資源管理と栽培漁業について	42名	
R4. 3. 25	駒場東邦中学校研修	資源管理と栽培漁業について	7名	Web 講義

5 緊急時モニタリング調査関係報告会

年月日	会議の名称	会議内容	対象者・人数	備考
R3. 4. 23	相双地区拡大操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協 書面開催
R3. 5. 21	相双地区拡大操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協 書面開催
R3. 6. 25	相双地区拡大操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協 書面開催
R3. 10. 1	相双地区拡大操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協
R4. 2. 18	相双地区拡大操業検討委員会	モニタリング結果報告	漁業者代表等60名	相双漁協

6 一般公開

(1) 月別見学者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
小学生			17	64	52	23	62						218
中高生					26		17						43
一般	3	10	36	15	23	8	48	27	8	17		6	201
合計	3	10	53	79	101	31	127	27	8	17	0	6	462

(2) イベント等での情報発信

催事名称・開催地	開催日・来場者数	内 容
第5回福島県環境創造シンポジウム・ブース展示	R3. 11. 20	研究紹介、研究成果の展示

Ⅲ 職員名簿

令和3年4月1日現在

所属	職名	氏名	職名	氏名
	所長	山廻邊 昭文	副所長(兼)種苗研究部長	佐久間 徹
事務部	事務長	荒川 麻知子	主査	八柳 裕之
種苗研究部	主任研究員	平川 直人	主任研究員	山野辺 貴寛
	主任研究員	伊藤 貴之	副主任研究員	鈴木 翔太郎
	主任技能員	菊地 正信		
資源増殖部	部長	島村 信也	主任研究員	佐藤 利幸
	主任研究員	山田 学	研究員	守岡 良晃
	研究員	白土 遼輝		
調査指導船	船長	渡辺 忠	機関長	宗形 順一
拓水	主査(兼)一等機関士	今泉 正亮	通信技師	佐藤 仁一